

筑後市社会福祉協議会 / 広報

人として

筑後市社会福祉協議会

(〒833-0032 筑後市野町680-1)

TEL 52-3969

FAX 53-6677

mail info@chikugo-shakyo.or.jp

URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で私たちのまちを福祉のまちに...それが社会福祉協議会の目標です。

介護家族の会コスモス
講演会

認知症の人と関わる時に 目指したいのは、 安心してもらうこと。 周りを頼って、 家族も無理しないことが大切



「娘に財布を盗まれた!」という認知症高齢者。ゆっくりと話を聞きながら、不安な気持ちを和らげようとします。講演では寸劇も披露されて、笑いも交えながらのお話となりました。

4月14日(日)、筑後市介護家族の会コスモス主催の講演会が開かれました。同会は家族を介護している人たちの会(「家族会」)です。この日は「認知症の人と関わる視点」について田中広継さん(有料老人ホームみづまの杜施設長)を招き、一般参加も呼び掛ける学習会となりました。

大切なのは「否定しないこと」

正論が正解とは限らない

認知症の人はどのような世界に生きているのか、想像したことがありますか？

- ・ 気づいたら知らない場所にいる。
- ・ 周りは知らない人ばかり。
- ・ 家に帰してもらえない。
- ・ お腹がすいたのに食事が無い。
- ・ 財布がない、盗まれた。
- ・ 皆が早口で喋っている。

このような感覚で日々過ごしていると云われます。

そんな世界に生きている人に、例えば「ご飯はさっき食べたでしょう?」などと言っても、例えそれが正しいことだとしても、良い対応とは言えません。

大切なのは「否定しないこと」です。

介護は家族だけで頑張らない

周りに頼ることがコツ

ただ、家族は大変です。家族だけ頑張ると、互いに疲弊しますし、孤立してしまいます。介護保険制度や病院、地域の支援者など、周りを頼ってほしいです。

家族会への参加も考えてみませんか? 介護の苦労・悩み、そして喜びもすぐに分かり合えます。また家族ならではの知恵が、家族会にはたくさんあります。

行方不明の人を助けたのは、

「偶然見つけた」が約半数!

今、認知症の方が行方不明になってしまう事案が全国各地で発生しており、大きな社会問題となっています。発見までの日数が3日以上かかると、生存率は極めて低くなってしまう。行方不明になった場合はいかに早く見つけるかがカギとなります。

そんな行方不明の方を発見するのは、約半数が偶然見つけた人です。

あなたの勇気と声掛けが

命を守るかもしれない

季節等にそぐわない服を着てい

る、同じところに長時間いる、ボーッとしているなど、様子がおかしいと思ったら、勇気を持って声をかけることが大切です。それが認知症の方の命を守ることになるはず。

認知症になったことを、

本人はよく分かっている

認知症になったことは、本人が一番分かっています。

以前は認知症になると自覚がなくなるとか、体験全体を忘れるなどと言われていましたが、決してそんなことはありません。「何かがおかしい」ということは、本人が一番分かっています。

「否定しない」「とにかく聴く」

不安を話せる関係性に

認知症の人自身が感じる不安や違和感を、周りに伝えるかどうかは、家族や周囲の人と心許せる関係かどうかにかかっています。

病院に行きたがらなかったり、認知症を認めない人もいます。しかし、本人は怖いのです。決して拒否しているわけではありません。

だからこそ、「否定しない」「怒らない」「とにかく聴く」ということ

が大切なのです。

時には優しい嘘も使いながら、

目指したいのは「安心」

認知症の人と関わる時に目指したいのは、安心してもらうことです。

本人の言葉に耳を傾け、その人のペースに合わせる事が大切です。物盗られ妄想などがあつた場合も、まずは否定せず傾聴し、気持ちに寄り添うことが大事です。

時には、優しい嘘も使いながら、安心というゴールを目指していきたいものです。

家族の介護のこと、話しに来ませんか？

**筑後市介護家族の会コスモスは、
介護している家族の会です**



- 家族会として、介護者同士の交流や学習会などを行なっています。
- 会員へは定例会の案内を毎月郵送します。（年会費 2,000 円）

〔事務局〕 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969
MAIL info@chikugo-shakyo.or.jp

**話せる場所があるだけで楽になる
—ふくおか・筑後きょうだい会—**



4月21日（日）、ふくおか・筑後きょうだい会が開かれました。同会は障害がある人の兄弟姉妹の会。この日は6名が参加しました。

「常に家族の顔色を見て我慢してきた。そんな生き方が染み付いており、大人になっても素の自分を出せない。本当の自分が分からない。」「子どもの頃、家庭環境を話せる人はいなかった。ずっと孤独だった」等、自身の生きづらさを吐露される場面も多々。

一方で、「解決はしなくても、話せる居場所があるだけで楽になる」など、前向きな話もたくさん出されました。

**地域福祉は“安心”の提供
—筑後校区福祉会・研修会—**



4月26日（金）、筑後校区福祉会の研修会が開かれました。

講師の中村秀一さん（九州大谷短期大学・教授）からは、地域で人を支える視点について、「『支援する側→支援される側』という一方通行の関係では、地域の分断になってしまう」「誰もが支えるし、誰もが支えられる。そんな流動的な関係性を地域につくることが重要」と話されました。また、「地域全体に安心を提供する仕組みが地域福祉」とも。

参加された方は、熱心にお話を聞いていました。

受講者
募集!

ボランティア入門講座 のお知らせ

★ 点訳ボランティア講座 ★

点字は、目の見えない人にとって情報を得るための大切な文字です。初心者の方も安心して学べます。お気軽にお申し込みください。

◇対象 点字に興味がある方(参加費無料)

◇内容(時間は10:00～12:00)

| | |
|----------|------------------------------|
| 6月10日(月) | なぜ点訳ボランティアが必要? 講習①「点字の基礎」 |
| 6月17日(月) | 講習②「言葉を点字で書く」 |
| 6月24日(月) | 講習③「文章を点字で書く」 |
| 7月1日(月) | 講習④「点訳してみよう！」 |
| 7月8日(月) | 今後の活動に向けて |

◇主催 点字グループ「むつみ会」

◇会場 筑後市総合福祉センター(筑後市野町680-1)

◇申込み 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

MAIL info@chikugo-shakyo.or.jp

◎ 音訳ボランティア講座 ◎

音訳活動は、視覚や身体に障害がある方のために、声を録音してお届けするボランティア活動です。皆様のお申し込みをお待ちしています!

◇対象 声のボランティアに興味があり、パソコンで文字入力可能な方(参加費無料)

◇内容(時間は13:30～15:30)

| | |
|----------|------------------|
| 6月20日(木) | 声のボランティアについて |
| 6月27日(木) | パソコンを使用した音訳を学ぼう① |
| 7月4日(木) | パソコンを使用した音訳を学ぼう② |
| 7月11日(木) | パソコンを使用した音訳を学ぼう③ |
| 7月18日(木) | 学習のまとめ・交流会 |

◇主催 音訳グループ「みずぐるま」

ひとり親家庭を応援します!

★食料品を無料で配布します!

お米、インスタント食品等を配布します。必要な方はお気軽にお申し込みください。なお、数に限りがあります。

事前申込が必要です!

6月5日(水)12時～6月10日(月)17時の間にQRコードから読みとり申し込みください。(期間内でも、定数に達し次第受付終了)



対象 平成14年4月2日以降生まれの子がいるひとり親家庭

配布日 6月11日(火)・12日(水)16時～18時

配布場所 筑後市総合福祉センター

問合せ 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969
mail info@chikugo-shakyo.or.jp

★グリーンフードパントリー
(野菜の無料配布)も
好評実施中!

*詳細はコチラ ⇒⇒⇒



ふくおか・筑後きょうだい会に

※障害のある人の
兄弟姉妹の会です

入会しませんか?

次回定例会(会場 筑後市総合福祉センター)

●6月16日(日)14:00～16:00(参加費100円)

問合せ ●ふくおか・筑後きょうだい会

MAIL chikugo_kyoudai@yahoo.co.jp



●筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

気軽にお立ち寄りください

精神障害のある人のための居場所・交流スペース

かたる～むの6月の予定

とき 6月14日・28日(金)
13:30～15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

問合せ 筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

MAIL info@chikugo-shakyo.or.jp

社会福祉事業資金寄付

★ 香典返し寄付の部 ★

中村 浩章様 (故マサミ様) 津島西
 田中 清孝様 (故畠山スミ子様) 新溝
 深町 順一様 (故繁登様) 高江
 副島 祐治様 (故マサエ様) 藤島
 角 節子様 (故敏廣様) 前津
 吉田 幾代様 (故治様) 古島

★ 計 一五、〇〇〇円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部 (物品口座)

○中村浩章様 (津島西) から紙ハット・吸水シートの寄付がありました。
 ○匿名様 (1件) から紙オムツの寄付がありました。
 ○ユーコーラッキー37筑後店様 (長浜) からお菓子の寄付がありました。
 ○穂田仁美様 (長浜) からランタン・アイスキャンディーメーカーの寄付がありました。
 ○吉田幾代様 (古島) から紙オムツ・紙ハットの寄付がありました。
 ○立山康弘様 (和泉中) から野菜の寄付がありました。
 ○JAふくおか八女よらん野菜 (前津) から野菜の寄付がありました。
 ○(株)ブレスシア様 (下北島) からお菓子の寄付がありました。

【いずれも4月1日～4月30日まで】

ひきこもり家族相談会

◎と き: 6月20日(木) 13:00～16:00
 (毎月第3木曜日 13:00～16:00 実施)

◎ところ: 筑後市総合福祉センター

- ・相談希望の方は、6月13日(木) 17時までにご予約ください。(1日限定3組)
- ・原則、来所での相談となります。
- ・匿名での相談も可能です。

問合せ・予約は筑後市社会福祉協議会へ
 TEL 52-3969 FAX 53-6677

不登校・ひきこもりの方の家族会

ハピアの会 に来てみませんか?

同じ立場同士なら話せる! 分かり合える!

と き 6月4日(火) 14:00～15:30
 学習会 家族同士の交流会・意見交換
 会場 筑後市総合福祉センター
 対象者 不登校やひきこもりの方の家族
 申込み 筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

食品の
 寄付受付BOX、
 置いてあります!



(株)ファミリーマートが
 フードドライブ開始

(株)ファミリーマート様からフードドライブによる食品提供の申し出をいただきました(フードドライブとは、家庭等で使いきれない食品を持ち寄り、それらを寄付する活動のことです)。

市内では筑後長浜店で食品の寄付受付BOXを4月15日から設置されています。集まった食品は生活困窮者の支援に活用する予定です。皆様のご協力、よろしく願いいたします。

なお、市社協でも随時食品の寄付(米、レトルト食品、缶詰等)を受け付けています。

事務局通信

「資格取得のために行った実習先で『あなたが実習して何になるの?』と言われたことが、心に刺さっている」
 社会福祉士の有資格者の話です。
 この言葉が投げかけられたのは、彼には脳性麻痺という障害があり、車イスを利用していらっしゃるから、でした。
 そんな彼は、障害者プロレス団体に所属し、何度もリングに上がっていました。また、旅行が趣味で、日本各地に赴いています。
 しかし「自分らしい生き方よりも、『障害者』に困っている人」と見られることばかり。困っていること以外の姿を、世の中の人は見ようとしていない。だろうか?」と言われてしまいました。
 昨年、「地域共生社会」という言葉が多用されます。地域で共に生きる社会を目指すわけですから、ある時は支え、ある時は支えられるということと人の関係性が流動的であることが、自然な姿なのだろうと思います。
 そう考えると、冒頭の彼の言葉が、そのヒントになる気がします。
 「困っていること以外の部分を見てくださいませんか?」
 (善)

心配ごと相談 毎週木曜日、午後1時から午後4時まで、福祉センター相談室で行っています。秘密厳守で対応します。